

たちばな学び館だより

2026年7月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。
ご家族お揃いで読書はいかがですか。



所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です。

たちばな学び館は、高崎総合支所 2階にあります。
どなたでもお気軽にご利用いただける図書室です。
土曜日・日曜日は、東側の警備員室前出入口をご利用ください。



【休館日】

毎週月曜日、祝日、12月29日～1月3日、6月1日～6月15日

【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時
(午後1時～午後2時は閉館です。)

【館外貸出】

一度に3冊まで(未返却含む)、期間は2週間です。

宮崎県立図書館・都城市立図書館の本も、
たちばな学び館で予約・返却ができます。



学習スペースを設けます！

日程：7/23(木)から8/25(火)の間の平日

時間：9時～17時

場所：高崎総合支所 1階西側 地域生活課前スペース

※ 座席数に限りがあります。

小中学生向け課題図書

「第72回青少年読書感想文全国コンクール」

「第70回西日本読書感想画コンクール」図書の一部を揃えています。

※読書感想文・感想画の図書については、貸出期間は1週間です。



新刊案内

★『劇場という名の星座』 小川 洋子／集英社

“帝国劇場”への愛が詰まった小説

1911年に日本初の本格的な西洋式劇場として、東京・丸の内に開場した歴史ある帝国劇場。しかし、2025年2月末で建て替えのため一時休館。そんな帝国劇場にまつわる人々のお話。劇場で働く人、観劇する人、どの人にも様々な物語があります。読み終えた後、心が温まること間違いなしです。



★『青天』 若林 正恭／文藝春秋

お笑いコンビ：オードリー若林の初小説



総大三高の弱小アメフト部に所属している「アリ」。引退大会で、強豪・遼西学園に玉砕し、失意のまま卒業……。ではなくあちらこちらとぶつかりながら、しぶとく生きていく「アリ」。誰でも一度は味わったことのある青春の苦しさ、楽しさ、そして躍動感を味わうことができる、そんな一冊です。

★『豆は煮えたか』 朝井まかて／文藝春秋

占いと人生と温かさを味わう時代小説

江戸・深川にある水茶屋「ささげや」の女主人お玉には不思議な力があります。相手の掌にまなざしを落とした後、自分の掌を重ねる。そうすると少し先の未来が見えてくるのです。今日もお玉のもとには様々な事情をもつ人々が集まります。そして、読み終えた後はこの物語に浸りつつ豆餅のような甘いものを食べたくなるかもしれません。



おすすめ本

「90歳、男のひとり暮らし」 阿刀田 高／新潮社

NHK「おはよう日本」、「午後LIVE ニュースーン」で紹介！

阿刀田さんはとにかく明るく、好奇心旺盛。淡々と過ごしながらも日々の生活を楽しんでいるのが伝わってきます。この本には毎日を機嫌よく過ごすヒントがちりばめられています。

※他にも多くの本をご用意しています。お気軽にお越しください(*^-^*)♪

